

平成26年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

2 四国旅日記を読む（九・終）

— 柳井市金屋小田家文書「四国巡拝道中記」 —

ら十アガムカシキ
なま祭ハ十儀中津ノ
のあもえん為跡
コトナ射十分
のあもえん為跡
十儀中津ノ
なま祭ハ十儀中津ノ
のあもえん為跡
コトナ射十分
のあもえん為跡

河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川

河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川

河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川

河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川

河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川

河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川

河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川

河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川

河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川
河津川

此の十一日、是の如く、
しつと、
古の心、
亦、
何年、
本、
若、
亦、
又、
其、
因、
其

波在文と云ふの如く配と
高年一得又善人等志
物も若く是れ程の事御
或れ才に新しむ身と云
却る是と云ふし昔新
の女中口より事也市下口
と云ふ事には借し若く是れ
也ししおびし人等も是
此入り御の志も亦亦
何事も並通し事也
也なる程に成る事
し目此御の志も亦亦
若く是れ程の事御
○十九日雨天
付馬車一月大書入り
川崎へ御入り

幸王女心

今寺山

七里

本尊寺甘茶御集

弟清きり計新り道ん
 いり物市振替何いよふ
 名と身し為物移色き集
 古別市番色い高酒買入
 行り是迄古別上六箇の
 村所集あふ松尾板本
 可下し相り志き了
 日七清石信信本古境有
 東伊清き和字紀野
 坂乃し小山村事多
 体事古ぬ古物古
 通乃何人御道一七切
 幸王女心

山田 漢書

大切の電... 古撰抄
阿ノ萬一... 物ハ切
彼場所... 高
子との... 廣
見村但... 心
一... 巻
事... 協
打... 乙
小... 弟
ふ... 村



觀自在寺

華嚴經

東海道... 物

第九卷之文ありて其文の〇は
次清和可、猫舟社、道公也

三河有

一 東より 箱庭 一 里

一 東より 中道 一 里

一 東より 北一 里

左方の人杖杖、古板ありて

私に、新道ありてありし

まゝに、中道ありてありし

一 東より 箱庭 一 里

一 東より 北一 里

一 東より 箱庭 一 里

一 東より 箱庭 一 里

一 東より 箱庭 一 里

高島 〇所を山田等より

乞ねり 市也 〇より新築

振動あり 果實類 〇〇

系九平又市場中より 〇〇

〇〇 〇〇 〇〇

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇〇の 〇〇の 〇〇の

〇和雨夏社百有六
 清涼なる如く 寺中今日古の
 有夢秋の 心居集りて
 有花香の 鹿林の
 是下 しのびなる古歌
 或はわすれりとの
 け流し 業の坊に大
 原堂の 七巻の書
 おれをよみ 七巻の書
 業の坊に 七巻の書



△ 稲三河大明神

古事

本尊十一面観音

はあここの物の名をいふは
天皇の御代に於ては
計古の事は是に當りて
町々の事柄は
後りては村の事柄
事柄の事柄は

△佛木寺 二里

本尊大日如来

本寺則村極老の御代に於て
事之十三年に於ては
由是に於ては
あつたは
御代に於ては
御代に於ては
御代に於ては

下り方り、行きの如く村
 々の村、明志村の界隈
 の方丈は、白王権現
 の御堂あり、また、きよひの
 河と、牛、馬、

△ 明石寺 一里

南より、山、川、の所、有
 り、山、の、所、有、り、
 まる、東、多、村、は、油、を
 弁、法、寺、と、西、海、持、又、り、多、入
 り、山、の、所、有、り、
 道、の、所、有、り、
 け、り、山、の、所、有、り、
 山、の、所、有、り、
 け、り、山、の、所、有、り、

東の東の元極の川に
以下登り大川の流るる
の中漢村より赤坂に
阿の五里より水毎に村
中川取阿の方面城下
新田前を善田の河
中或は由郷平又の古
雨天の所古城下町
古城のり古郷のり
中村所の川の流る
由のり有別名古城下
川がたな坂内村に
方面のり古郷のり
おと坂のり古郷のり
まのり大津がたな

亦又○年六日出家
 行明神村 淨瑠璃寺
 のまの向うに浄瑠璃寺
 三つに浄瑠璃寺又水戸に浄瑠璃寺
 浄瑠璃寺のまの向うに浄瑠璃寺
 浄瑠璃寺

△浄瑠璃寺 九丁
 本尊 草原兼光

△八坂寺 羊里
 本尊 阿彌陀佛

△西林寺 九丁
 本尊 阿弥陀尊

△浄土寺 十丁

本尊 釈迦如来

△ 鍛冶多寺 本尊

本尊 藤原如来

古堂 西行 行

寺 史 元 寺 堂 入 行

寺 行 行 行 行 行 行 行 行

行 行

△ 石午寺 道行

本尊 草源如来

本尊 大地如来 法堂 如来

本尊 如来 如来 如来

寺 如来 如来 如来 如来

寺 如来 如来 如来 如来

名馬の如く、故郷に歸る事
指す所の如く、此の年、未だ
三ヶ月前、是れ十尾、一尾、
揚切の如く、若くは、
新嘉坡の如く、便に、
○四月、五月、
安及、欲、在、如、意、
候

二月廿七日

四月廿七日

五月廿七日

